

製品名: ITGB4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81207**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 202kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | ITGB4 |
| 別名 | CD104 |
| 遺伝子 ID | 3691.0 |
| SwissProt ID | P16144 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト ITGB4 (AA: 1619-1822) の精製された組み換え断片。 |

背景

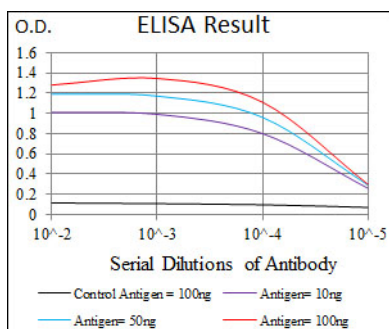
インテグリンは、非共有結合的に会合した膜貫通型糖タンパク質受容体である α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量体です。 α ポリペプチドと β ポリペプチドの様々な組み合わせが、リガンド結合特異性が異なる複合体を形成します。インテグリンは

細胞間接着または細胞間接着を媒介し、遺伝子発現と細胞増殖を制御するシグナルを伝達します。この遺伝子は、ラミニンの受容体であるインテグリン $\beta 4$ サブユニットをコードしています。このサブユニットは $\alpha 6$ サブユニットと会合する傾向があり、浸潤癌の生物学的に極めて重要な役割を果たすと考えられます。この遺伝子の変異は、幽門閉鎖を伴う表皮水疱症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

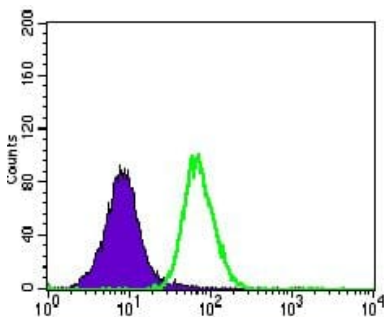
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

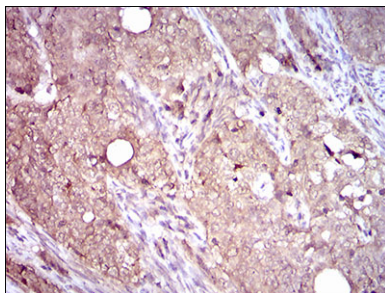
画像データ



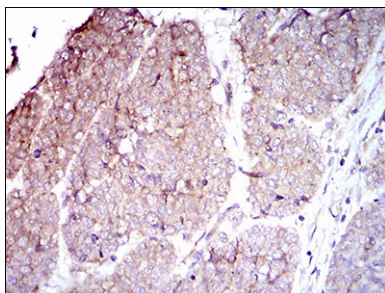
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



ITGB4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による ITGB4 マウス mAb を使用したパラフィン包埋子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ITGB4 マウス mAb を使用したパラフィン包埋食道癌組織の免疫組織化学分析。

